

第 章

關係資料編

1 野生鳥獣による被害状況

野生鳥獣による都道府県別農作物被害状況（平成18年度）

都道府県		被害金額(万円)								
		鳥獣計	獣類計	鳥類計	うち カラス	ヒヨドリ	スズメ	カモ	ムクドリ	ハト
北海道		340,644	324,243	16,401	8,956	221	637	221	841	4,054
東	青森	16,398	8,388	8,010	5,138	350	99	1,875	453	47
	岩手	16,403	8,729	7,674	3,860	0	1,380	380	1,735	304
	宮城	8,721	7,298	1,423	675	0	253	338	0	111
	秋田	11,391	7,171	4,220	2,780	88	25	1,083	185	13
北	山形	128,778	61,817	66,961	29,228	3,426	11,286	980	20,841	233
	福島	29,562	17,229	12,333	9,538	895	580	1,109	143	46
	小計	211,253	110,632	100,621	51,219	4,759	13,623	5,765	23,357	754
関	茨城	33,563	3,692	29,870	14,207	712	0	12,802	1,416	0
	栃木	55,354	17,545	37,809	16,016	272	397	18,100	390	2,282
	群馬	42,121	35,680	6,441	1,565	10	955	83	0	1,236
	埼玉	19,077	14,522	4,555	1,509	169	1,719	147	137	874
	千葉	49,072	26,919	22,153	11,592	3,196	974	1,616	1,870	2,103
	東京	6,249	4,613	1,636	328	277	12	0	22	3
	神奈川	18,144	12,437	5,707	2,023	2,899	25	0	701	25
	山梨	28,195	23,685	4,510	2,254	70	855	0	1,070	249
	長野	95,619	64,423	31,197	12,718	4,205	5,116	711	4,973	1,985
	静岡	29,341	25,369	3,972	2,233	779	890	0	33	37
小計	376,734	228,885	147,849	64,446	12,589	10,942	33,459	10,612	8,794	
北	新潟	36,737	10,173	26,564	14,403	135	5,020	1,195	3,525	1,949
	富山	10,125	6,168	3,957	2,569	296	173	61	755	39
	石川	8,609	2,610	5,999	2,222	68	155	2,656	104	0
	福井	8,360	7,721	639	613	2	24	0	0	0
小計	63,830	26,671	37,159	19,806	501	5,372	3,912	4,384	1,988	
東	岐阜	14,608	10,283	4,325	2,427	925	592	0	121	261
	愛知	68,817	21,151	47,666	16,025	9,455	5,013	2,244	5,571	8,456
	三重	30,812	29,310	1,502	0	205	1,085	65	147	0
	小計	114,238	60,745	53,493	18,452	10,585	6,689	2,309	5,838	8,717

		被害金額(万円)								
都道府県		鳥獣計	獣類計	鳥類計	うち					
					カラス	ヒヨドリ	スズメ	カモ	ムクドリ	ハト
近畿	滋賀	16,087	14,158	1,929	1,156	0	574	0	24	32
	京都	48,975	42,741	6,234	3,079	1,018	737	1	381	574
	大阪	12,963	9,756	3,207	2,013	323	349	0	392	80
	兵庫	57,515	48,184	9,331	5,360	1,310	1,994	52	115	477
	奈良	6,777	5,468	1,309	430	562	132	0	69	102
	和歌山	29,156	25,765	3,391	1,808	1,360	14	0	206	3
	小計	171,473	146,072	25,401	13,846	4,573	3,800	53	1,187	1,268
中国	鳥取	12,442	5,461	6,981	6,833	0	0	0	0	7
	島根	5,412	5,125	287	208	0	17	1	0	0
	岡山	42,306	27,517	14,789	4,921	536	1,275	730	56	821
	広島	66,604	52,122	14,482	7,303	5,062	301	13	0	20
	山口	61,691	45,759	15,932	7,798	3,964	2,511	276	0	847
	徳島	8,267	6,519	1,748	1,695	33	0	20	0	0
	香川	20,588	11,791	8,797	6,019	50	1,417	3	1,092	196
	愛媛	55,327	41,090	14,237	6,509	5,202	655	0	0	182
	高知	14,072	11,479	2,594	2,248	0	48	0	50	56
	小計	286,709	206,863	79,846	43,534	14,847	6,224	1,043	1,198	2,129
九州	福岡	118,618	49,058	69,560	37,401	14,065	4,676	145	1,760	10,220
	佐賀	56,318	40,312	16,006	8,997	2	328	1,927	0	4,391
	長崎	56,363	41,602	14,761	13,221	969	454	58	0	5
	熊本	58,515	47,059	11,456	7,904	2,579	493	433	0	40
	大分	25,843	20,412	5,431	3,915	226	1,119	15	12	125
	宮崎	16,924	15,029	1,895	1,501	17	139	64	8	141
	鹿児島	40,213	30,888	9,325	3,946	2,119	2,296	47	0	613
	小計	372,793	244,360	128,434	76,885	19,977	9,505	2,689	1,780	15,535
沖縄	沖縄	27,419	5,451	21,968	9,637	882	0	101	0	0
総計		1,965,093	1,353,921	611,172	306,780	68,933	56,791	49,551	49,198	43,239

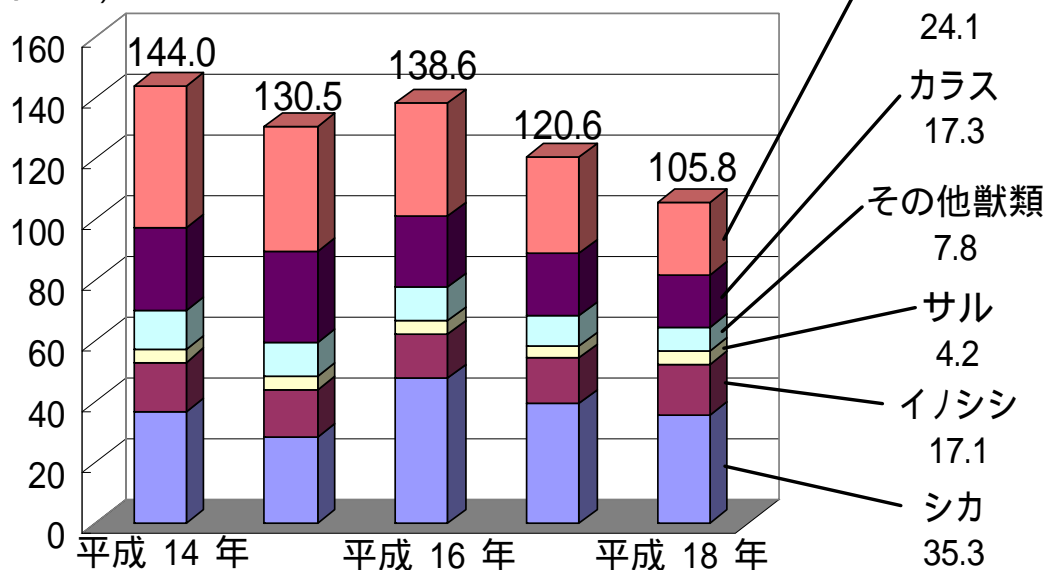
(注) 1 . 都道府県の報告による(都道府県は、市町村等からの報告等を基に把握を行っている)

2 . 小数点以下を四捨五入しているため、計が一致しない場合がある。

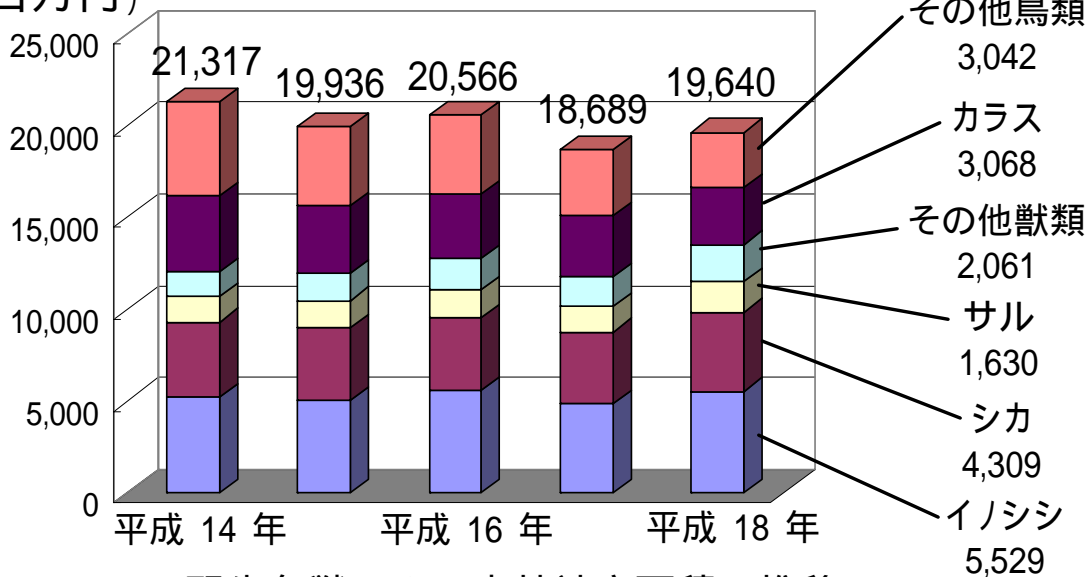
(農林水産省生産局農産振興課資料より)

(1) 被害の概況

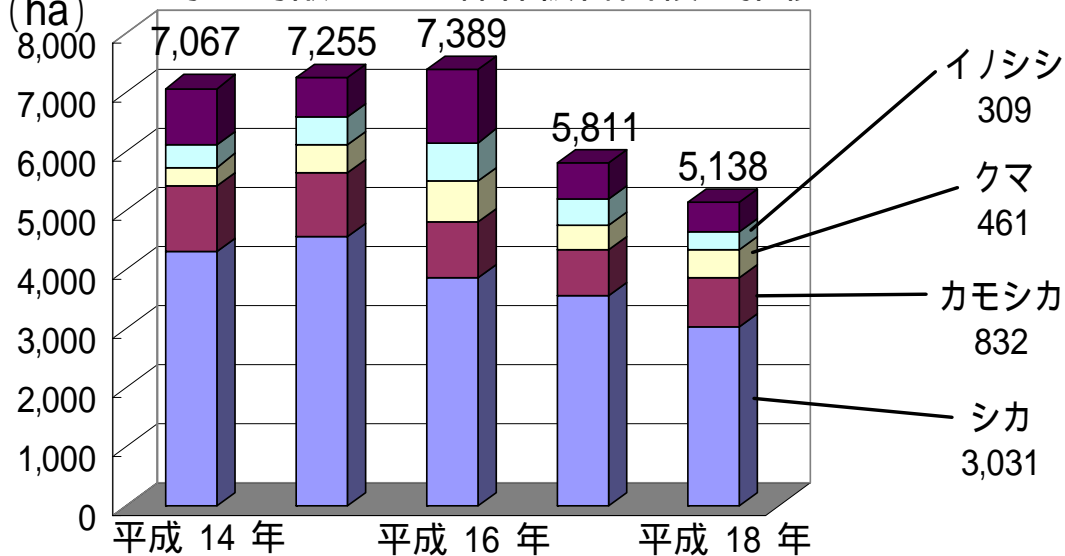
(千 ha) 野生鳥獣による農作物被害面積の推移



(百万円) 野生鳥獣による農作物被害金額の推移



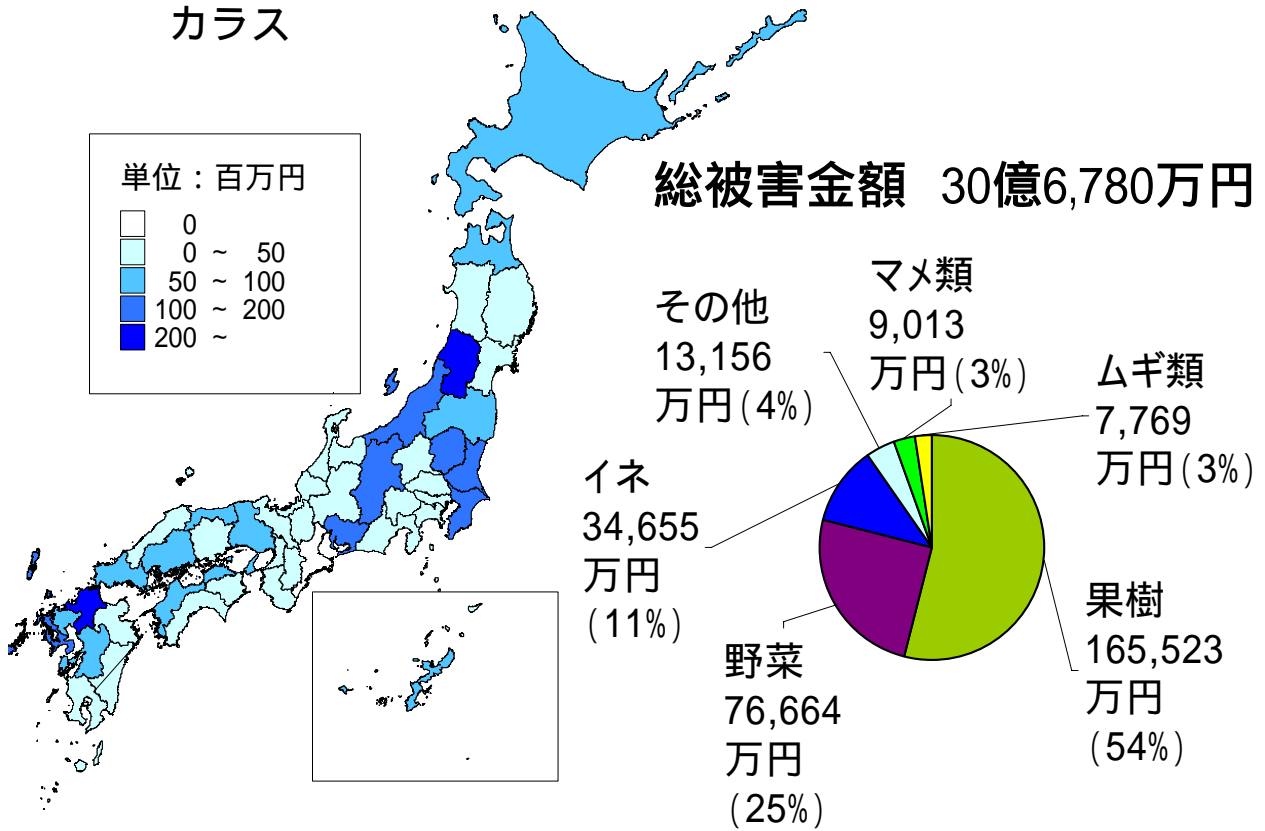
(ha) 野生鳥獣による森林被害面積の推移



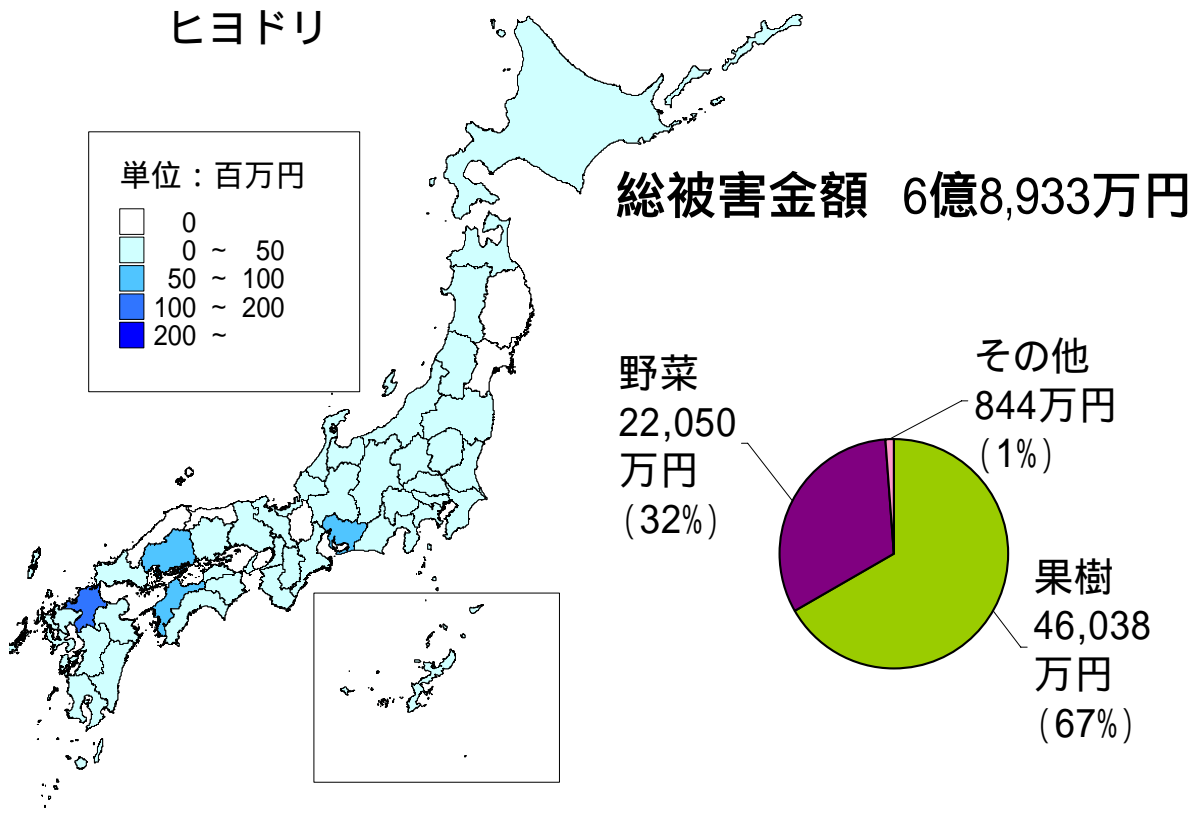
(農林水産省生産局農産振興課資料より)

(2) 主要鳥種の被害状況 (都道府県別)

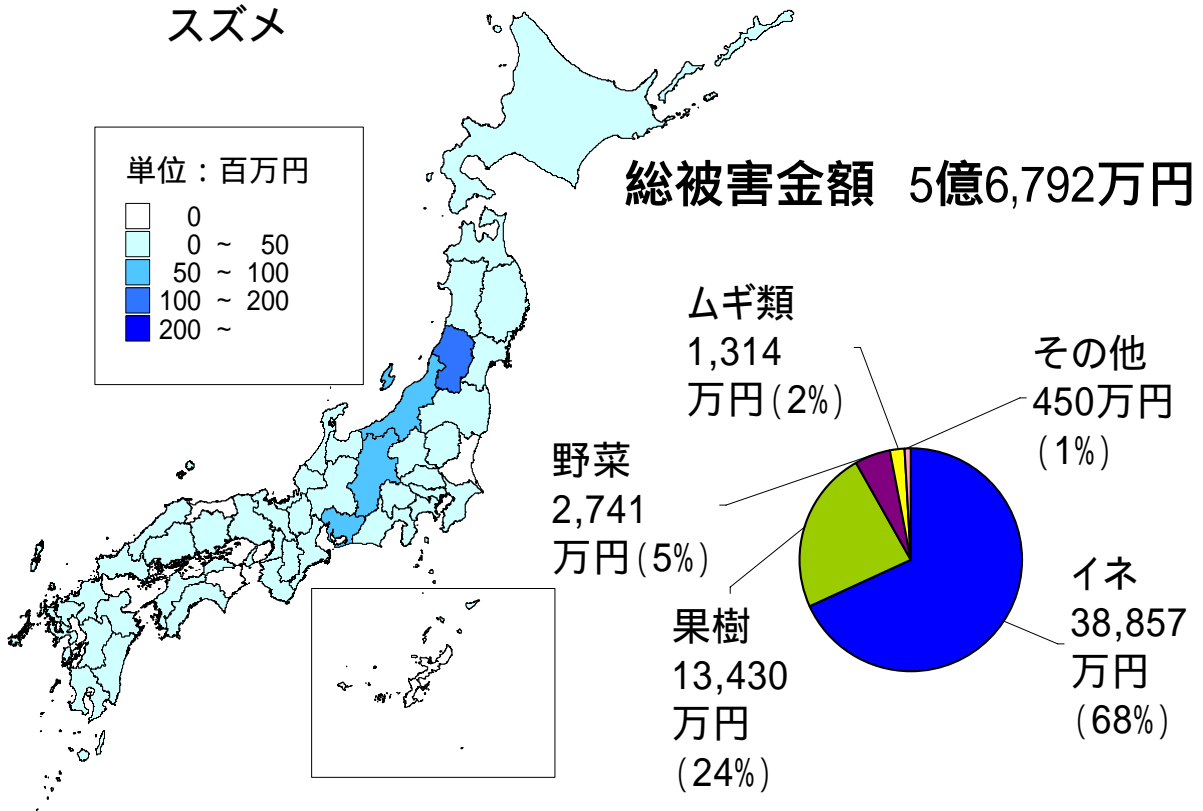
カラス



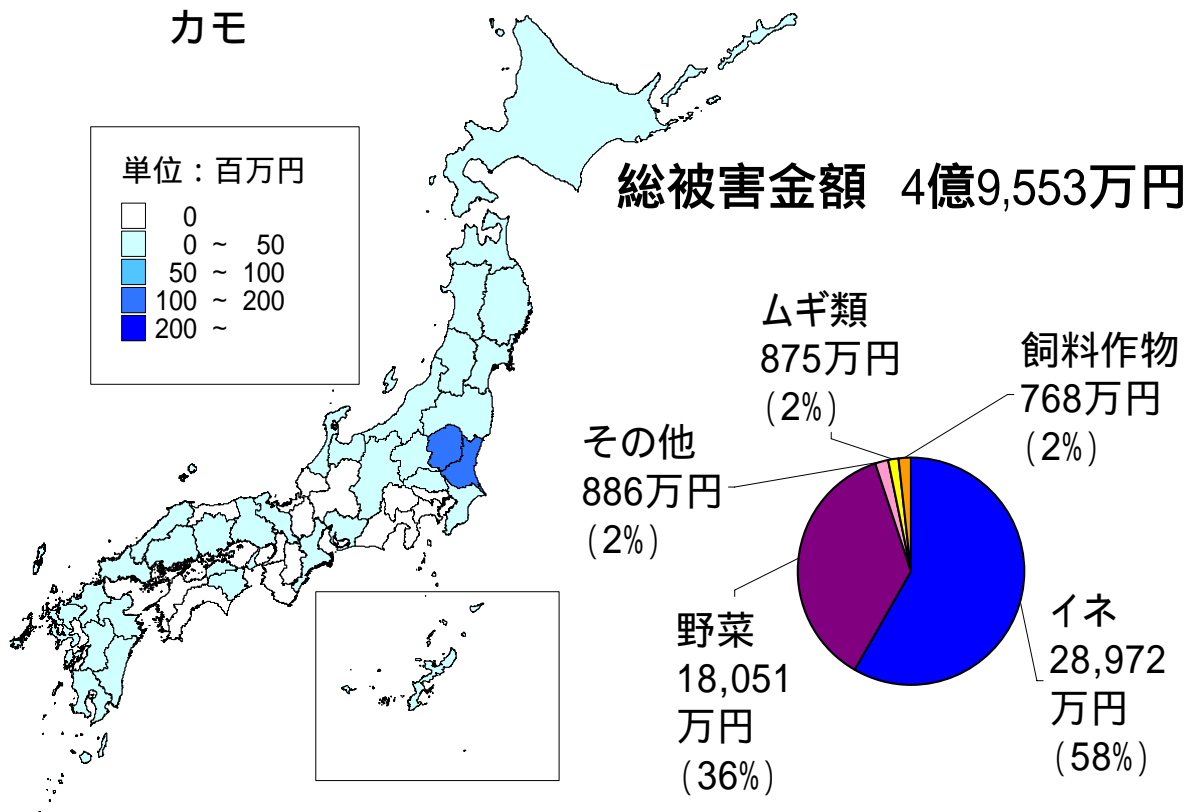
ヒヨドリ



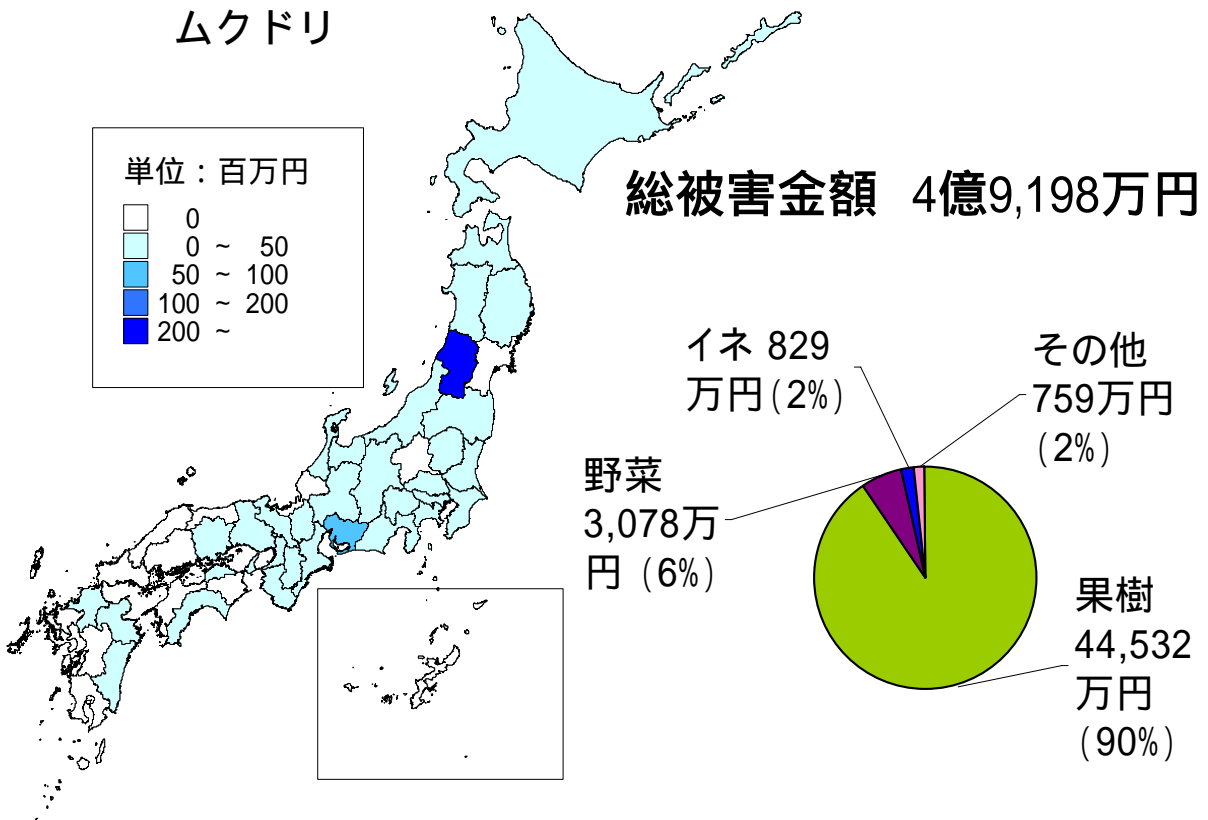
スズメ



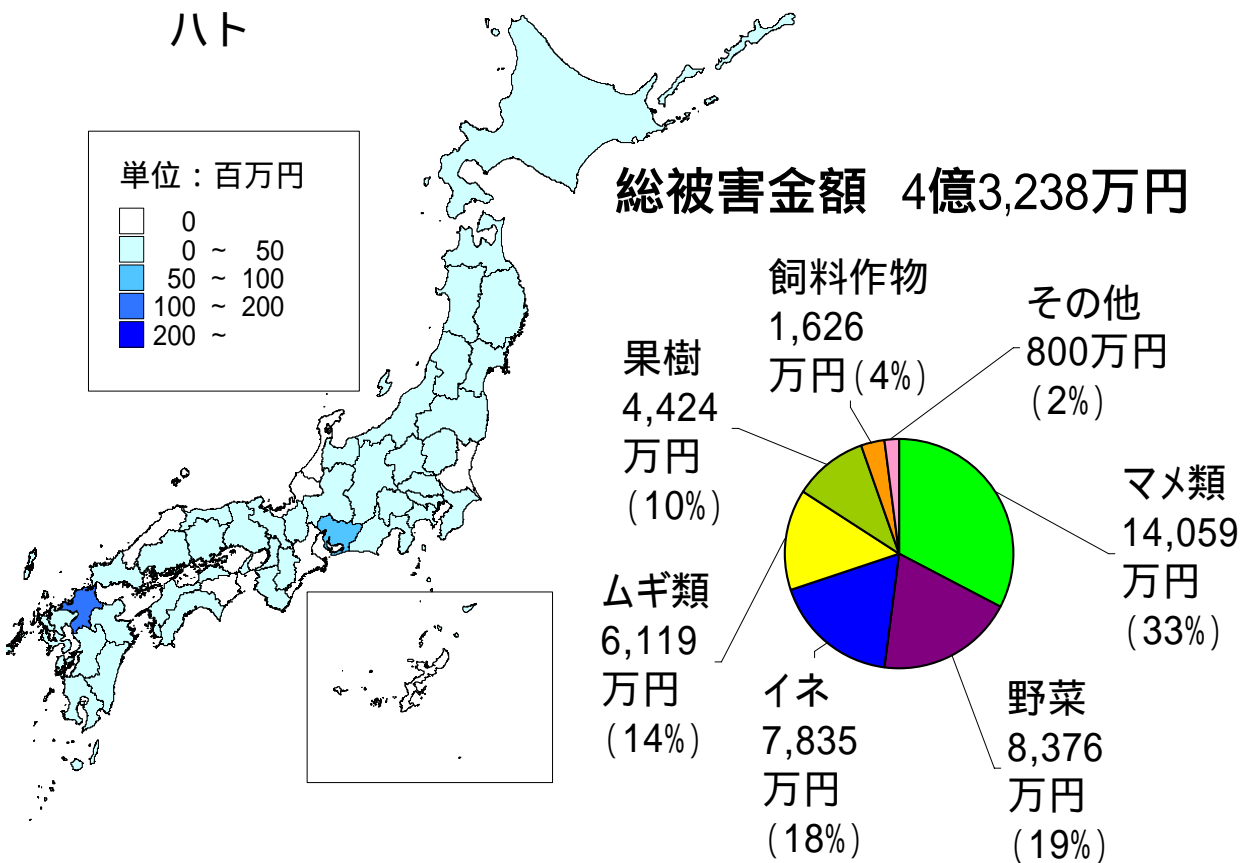
カモ



ムクドリ



ハト



(農林水産省生産局農産振興課資料(平成18年)より)

2 鳥獣害防止対策関連事業

平成20年度 鳥獣害防止対策関連予算一覧

単位：百万円

事業名	19年度 予算額	20年度 概算 決定額	事業内容
鳥獣害防止総合対策事業 (新規)	0	2,800	<p>個体数調整、被害の防除、生息環境管理の取組を総合的に支援。 特に、以下の対策を重点的に推進。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市町村、農業関係団体職員等による捕獲体制整備 ・箱ワナ等捕獲機材の導入 ・捕獲鳥獣の処理加工施設の整備 ・広域地域が一体となった侵入防止柵の設置 ・犬を活用した追い払い等被害防除技術の導入 ・緩衝帯の設置(牛の放牧等)による里地里山の整備 ・サル等の被害対策指導員の育成
農山漁村活性化プロジェクト 支援交付金(拡充)	34,088 の内数	30,546 の内数	・事業の一メニューとして鳥獣害防止施設の整備 捕獲鳥獣個体を地域活性化に有効活用するための施設整備について拡充
畑地帯総合整備事業(拡充) [公共]	35,033 の内数	35,994 の内数	・事業の一メニューとして鳥獣害防止施設の整備 生産基盤整備として、鳥獣侵入防止柵の整備が可能となるよう拡充
農村振興総合整備事業 (拡充)[公共]	5,335 の内数	6,148 の内数	〃
農 業 被 害 対 策 村づくり交付金(拡充) [公共]	28,528 の内数	29,560 の内数	〃
中山間地域総合整備事業 (拡充)[公共]	30,467 の内数	33,014 の内数	〃
農地環境整備事業(拡充) [公共]	1,042 の内数	1,193 の内数	・事業の一メニューとして鳥獣害防止施設の整備 (侵入防止柵の整備等のハード対策の実効性・効率性の向上を図るための施策を緊急的に実施) 生産基盤整備として、鳥獣侵入防止柵の整備が可能となるよう拡充
特定中山間保全整備事業 [公共]	2,587 の内数	3,187 の内数	・事業の一メニューとして鳥獣害防止施設の整備
中山間地域総合農地防災事業 [公共]	1,978 の内数	1,624 の内数	〃
農地保全整備事業[公共]	3,948 の内数	4,062 の内数	〃

事業名		19年度 予算額	20年度 概算 決定額	事業内容
森林被害対策	森林環境保全整備事業（調査費除く）[公共] 森林居住環境整備事業 里山エリア再生交付金[公共]	45,289 の内数	38,896 の内数	・適切な森林の整備を行うために必要な場合に、防護柵の設置や忌避剤の散布等の付帯施設の整備
	森林・林業・木材産業づくり交付金	9,756 の内数	9,692 の内数	・防護柵の設置、テープ巻・トタン巻の実施、誘導型捕獲装置の設置、新たな防除技術の開発・普及、防除・捕獲技術者の養成、広域的な駆除活動、監視・防除体制の整備等
	野生鳥獣被害広域防除対策推進調査事業	15	15	・県域をまたがる広域的な地域などにおいて、広域的な被害防除計画の策定 鳥獣害防止施設のトータルコスト低減等の検討 堅果類の結実予測等の調査
水産被害対策	健全な内水面生態系復元等推進事業	322 の内数	315 の内数	・広域的に連携して行うカワウの生息状況調査、追い払い、捕獲等を支援
	有害生物漁業被害防止総合対策事業(拡充)	830 の内数	890 の内数	・広域的な観点からのトドの駆除等を支援 ・一斉追い払い等効果的な追い払い手法の実証試験 ・トドに破られにくい強化網、トド忌避手法の開発 ・トドの生態解明、出現頭数把握等のための調査・研究 ・結果取りまとめとより効果的な手法の検討
試験研究	新たな農林水産政策を推進する実用技術開発事業（組替・新規） ・外来野生動物等による新たな農林被害防止技術の開発（H18～H20） ・営農管理的アプローチによる鳥獣害防止技術の開発（H19～H21） ・カワウによる漁業被害防除技術の開発（H19～H21） 注：平成19年度は、「先端技術を活用した農林水産研究高度化事業」で実施	5,220 の内数 (注)	5,200 の内数	・外来野生動物等の個体群特性や行動特性に基づく効果的被害防止技術及び被害発生の危険度推定による農林地の管理方法を開発 ・忌避作物栽培等鳥獣害対応型の栽培技術の開発、イノシシ捕獲処理法及び生息個体数推定法等を開発 ・カワウ食害防除技術の開発、カワウ被害軽減技術の開発、総合的なカワウ管理技術の開発
	地球環境保全等試験研究費（公害防止等試験研究費）【環境省一括計上】 ・ツキノワグマの出没メカニズムの解明と出没予測手法の開発（H18～H22）	197 の内数	193 の内数	・ツキノワグマの行動特性、生理・生態学的特性、環境特性等から出没メカニズムを解明し、出没予測法を開発

（農林水産省生産局農産振興課資料より）

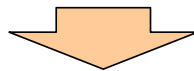
3 鳥獣による農林水産業等に係る被害の防止のための特別措置に関する法律の概要

目的

鳥獣による農林水産業等に係る被害の防止のための施策を総合的かつ効果的に推進し、農林水産業の発展及び農山漁村地域の振興に寄与します。

内容

農林水産大臣が被害防止施策の基本指針を作成します。



基本指針に即して、市町村が被害防止計画を作成します。

被害防止計画を定めた市町村に対して、被害防止施策を推進するための必要な措置が講じられます。

具体的な措置



権限委譲

都道府県に代わって、市町村自ら被害防止のための鳥獣の捕獲許可の権限を行使できます。

財政支援

地方交付税の拡充、補助事業による支援など、必要な財政上の措置が講じられます。

人材確保

鳥獣被害対策実施隊を設け、民間の隊員については非常勤の公務員とし、狩猟税の軽減措置等の措置が講じられます。

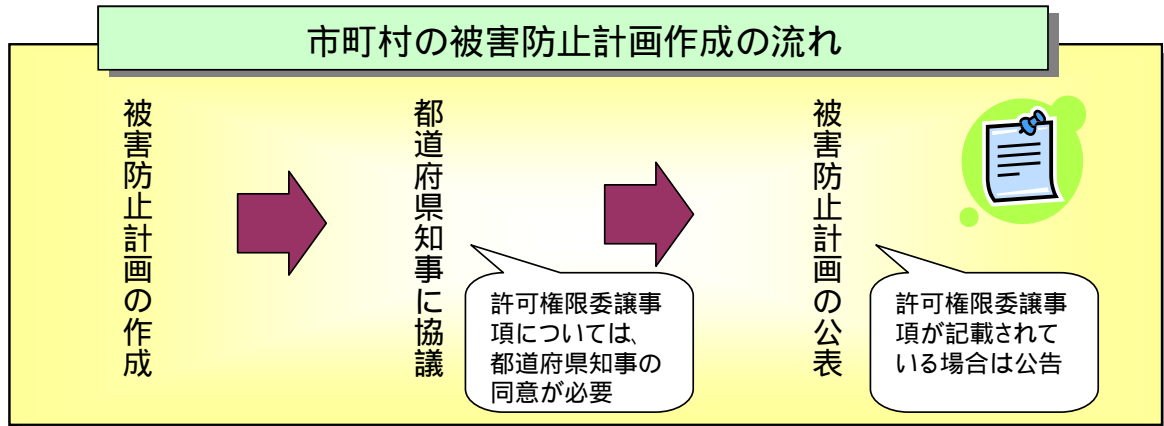
施行期日

この法律は公布の日から2ヶ月を経過した日から施行されます。

市町村の作成する被害防止計画のイメージ

農林水産大臣が策定する基本指針に即して、市町村は、単独で又は共同して、被害防止計画を作成します。

市町村の被害防止計画作成の流れ



市町村の被害防止計画に記載する事項

1 被害の防止に関する基本的な方針

被害の現状や従来講じてきた被害防止施策、被害の軽減目標や今後の取組方針を記載します。

2 被害防止計画の対象鳥獣

被害防止計画の対象とする鳥獣の種類を記載します。

3 被害防止計画の期間

被害防止計画の期間を記載します。(概ね3年を想定)

4 対象鳥獣の捕獲に関する事項

捕獲の担い手の確保に関する取組、鳥獣の捕獲予定頭数、捕獲許可権限の委譲を希望する鳥獣の種類等を記載します。

5 防護柵の設置等捕獲以外の被害防止施策に関する事項

防護柵の設置、追い払い活動、放任果樹の除去、緩衝帯の設置、被害防止に関する知識の普及など、捕獲以外の被害防止施策に関する取組について記載します。

6 被害防止施策の実施体制に関する事項

鳥獣被害対策実施隊の設置や、関係機関で構成する対策協議会の設置等について記載します。

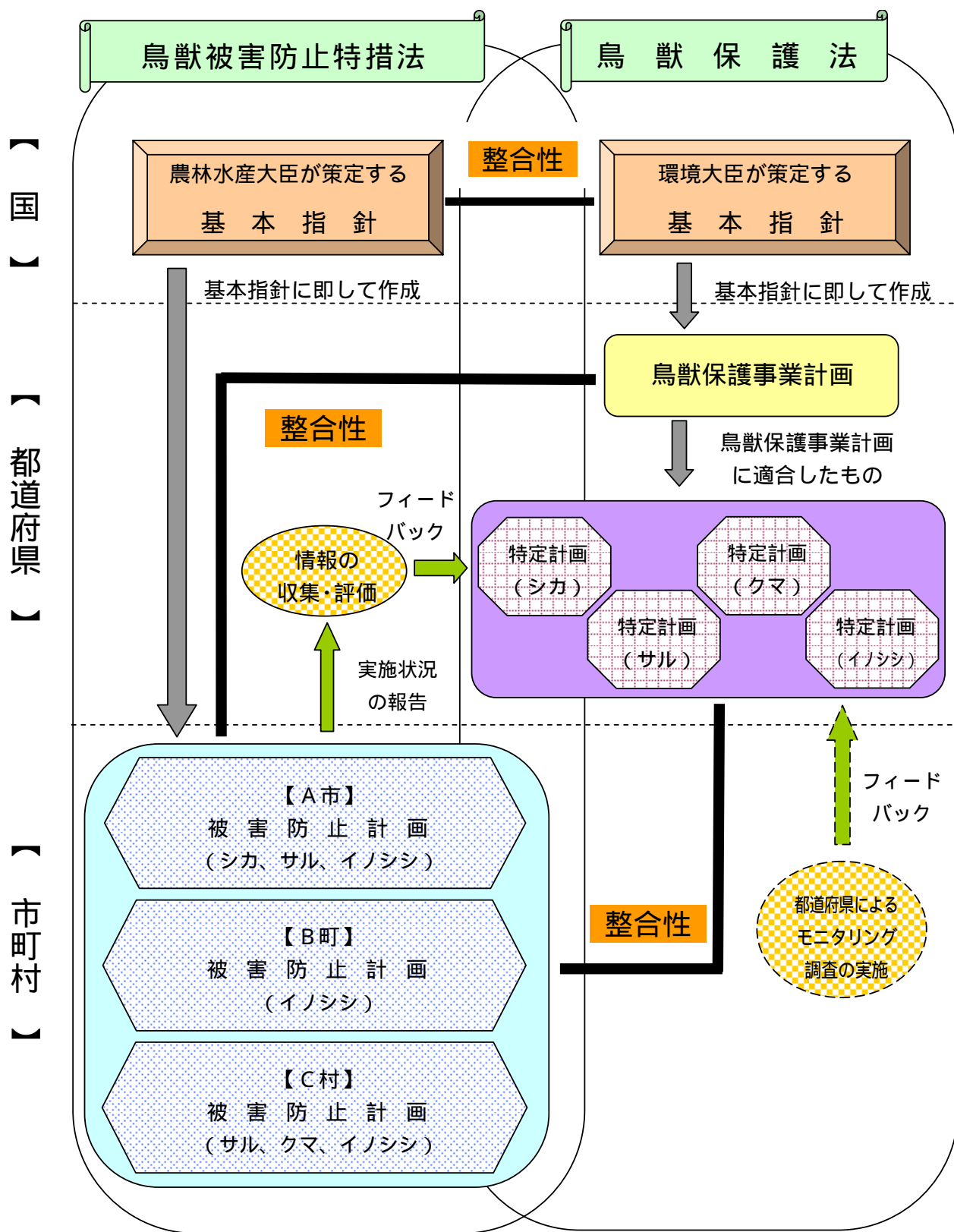
7 捕獲した対象鳥獣の処理に関する事項

捕獲現場等での埋設処理、一般廃棄物処理施設での焼却、肉等としての利活用等、捕獲した鳥獣の処理方法について記載します。



(参考)

特措法と鳥獣保護法との関係図



点線囲み部分は現在法律上規定されていないもの(基本指針に記載)

4 農作物野生鳥獣被害対策アドバイザーの登録制度の概要

1. 趣 旨

地域における農作物の被害防止対策を的確かつ効果的に実施するため、野生鳥獣による農作物被害の防除に関する専門的な知識及び経験を有し、地域における被害防止対策の実施に際し、助言等を行うことができる者を「農作物野生鳥獣被害対策アドバイザー」として農林水産省に登録し、地域の要請に応じて紹介する制度を設ける。

2. 農作物野生鳥獣被害対策アドバイザーが行う助言等の内容

1) 農作物野生鳥獣被害対策アドバイザー（以下「登録アドバイザー」という。）は、被害防止対策に係る「防護」、「生息地管理」、「捕獲」の3分野のうち、農林水産省が主体となって推進する「防護」分野に関する専門家とする。

2) 登録アドバイザーが行う助言等の内容は以下のとおり。（すべての事項を義務付けるものではなく、具体的な内容は当事者間の調整による。）

地域における防除体制の整備

地域における総合的防除計画の策定

防護柵等の被害防止施設の整備

野生鳥獣の被害を軽減する営農・農林地管理技術

地域における被害防止対策の担い手の育成

「広域連携産地競争力強化支援事業」の実施

その他野生鳥獣による農作物被害防止対策の推進

3. 登録制度の概要

(1) 登録手続

生産局長は、地方農政局、地方公共団体、公的試験研究機関、大学その他これに準ずる公的機関から、アドバイザーの候補者の推薦を受ける。

生産局長は、地方農政局等から推薦のあった者に対して、

アドバイザーの登録を依頼する。

アドバイザーの登録を承諾する者は、承諾書とアドバイザー登録票を提出する。

生産局長は、登録アドバイザーに対して、登録証を発行する。

登録期間は3年とする。ただし、登録アドバイザーとしての適正を損なうと認められる場合は、登録を取り消すことができる。

(2) 登録情報の公表

登録アドバイザーに係る氏名、連絡先(住所、電話番号、FAX番号、電子メールアドレス)、専門分野、派遣可能地域等の情報は、登録簿に記載し、生産局農産振興課鳥獣害対策班で管理する。

登録簿に記載された情報(連絡先を除く。)は、本人の同意の上、農林水産省のホームページ等で広く一般に公表するとともに、地方農政局等において閲覧を可能とする。

(3) 利用手続

登録アドバイザーに助言等を依頼しようとする者(以下「利用者」という。)は、農林水産省のホームページ等において公表された情報から、自らの活動に有用と思われる者を選択し、連絡先を生産局農産振興課鳥獣害対策班又は地方農政局農産課鳥獣害対策係に照会する。

連絡先の提供を受けた利用者は、直接、登録アドバイザーに連絡をし、依頼する助言等の内容や経費負担について調整する。

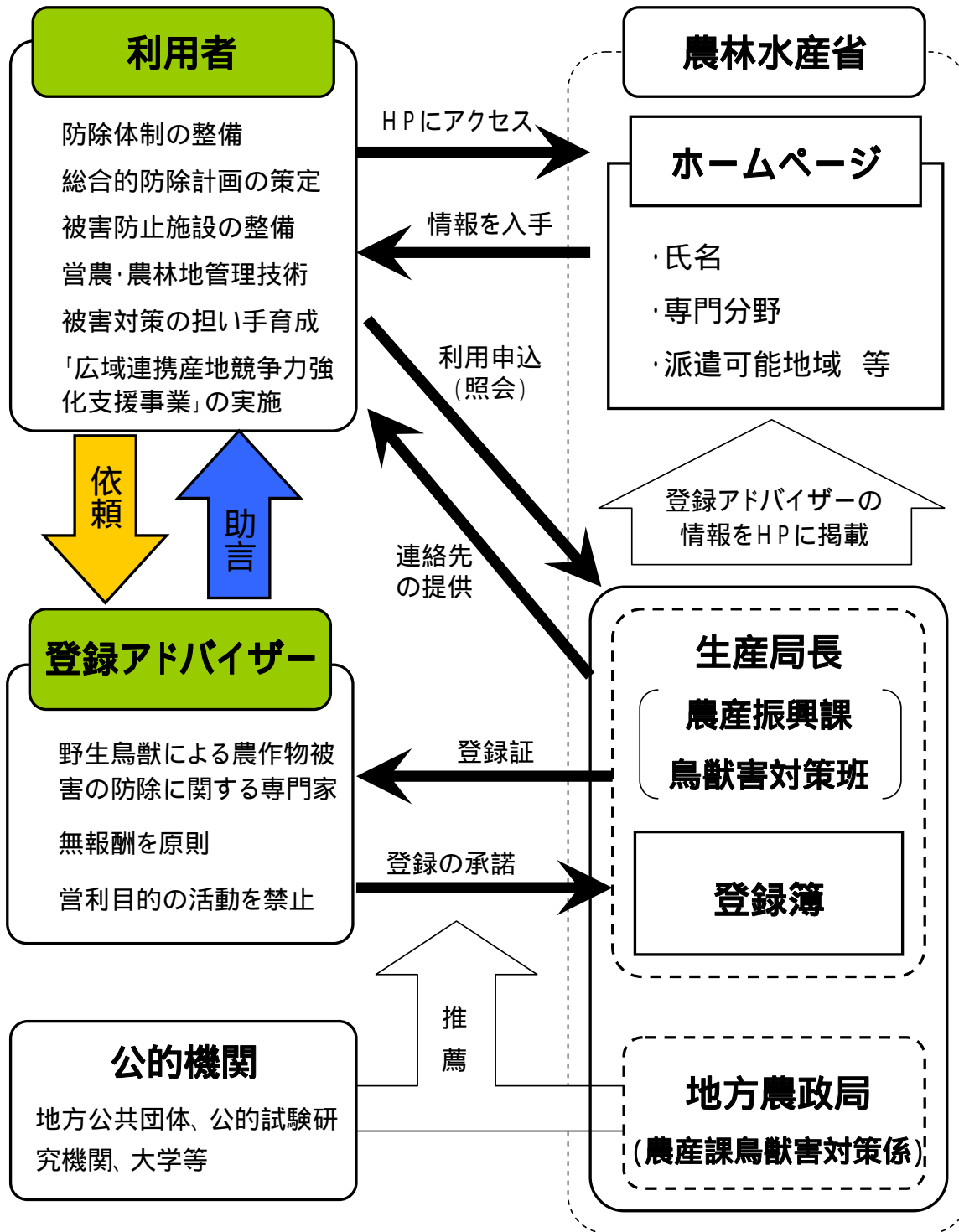
依頼者から登録アドバイザーに対して支払われる経費については、交通費、滞在費等に係る実費相当額を基本とし、あらかじめ双方が合意した額とする。

依頼した助言等の活動に関連して、データ収集等の調査が必要な場合には、利用者は当該調査の実施に当たり積極的に協力する。

(4) 資格・権利

本制度は、専門家の情報を提供するものであって、登録によって、公的な資格や権利が付与されるものではない。

農作物野生鳥獣被害対策アドバイザーの概要(イメージ)



(農林水産省生産局農産振興課資料より)

農作物野生鳥獣被害対策アドバイザー登録者一覧

平成 19 年 7 月 13 日現在 (118 名登録)

登録番号	氏名	専門分野	対応可能地域
(独立行政法人試験研究機関)			
101	井上 雅央	作物保護 (イノシシ、シカ、サル、鳥類)	本州 四国 九州
102	竹内 正彦	獣害対策 (イノシシ、タヌキ、アライグマ)	全国
103	上田 弘則	生態学 鳥獣害対策 (イノシシ、シカ、サル)	近畿 中国 四国
104	百瀬 浩	鳥類生態学 景観生態学 (鳥類)	全国
105	仲谷 淳	野生動物管理学 動物生態学 (イノシシ、シカ、サル)	全国
106	山口 恭弘	鳥類生態学 (鳥類)	関東
107	吉田 保志子	鳥類生態学 (鳥類)	全国
108	SPRAGUE, David Shigeru	動物生態学 (サル)	本州 四国 九州
109	岩崎 亘典	農村計画学 地理情報システム(GIS)	関東甲信越 中部
110	小泉 透	シカの被害対策	全国
111	岡 輝樹	行動生態学 保全生物学 (シカ、カモシカ、クマ)	東北 関東甲信越
112	大井 徹	動物生態学 野生動物保護管理学 (シカ、サル、クマ)	全国
113	平川 浩文	野生生物の保全と管理 (シカ、ウサギ)	北海道
114	堀野 眞一	ニホンジカの生態と管理 (シカ)	東北 関東 中部
115	鈴木 祥悟	水稲直播におけるカルガモ回避 (カルガモ)	東北
116	奥村 栄朗	森林棲哺乳類の生態と保護管理 被害防除 (シカ、カモシカ)	四国
117	矢部 恒晶	ニホンジカの生態と管理 (シカ)	九州
(大学関係)			
201	池田 透	保全生態学 野生生物管理学 外来種対策 (アライグマ)	北海道 (他の地域については応相談)
202	立澤 史郎	哺乳類個体群生態学 (シカ、ヌートリア、ミンク)	全国
203	土屋 剛	生態学 畜産学 シカの被害対策 (シカ、カモシカ、クマ)	東北 新潟県

登録番号	氏名	専門分野	対応可能地域
204	田口 洋美	環境学 民俗学 文化人類学 (サル、クマ)	東日本
205	小金澤 正昭	野生鳥獣管理学 (シカ、サル、クマ)	栃木県 群馬県
206	樋口 広芳	保全生態学 鳥類学 (カラス)	南関東
207	古林 賢恒	森林生物保全学 ワイルドライフマネジメント (シカ、カモシカ、クマ)	東北 関東 北陸 東海 近畿
208	安藤 元一	哺乳類生態学 水環境管理 (アライグマ)	神奈川県 (他の地域については応相談)
209	石井 信夫	哺乳類生態学 野生生物管理学 (アライグマ、マンゲース)	全国
210	羽山 伸一	野生生物の個体群管理 住民参加型被害対策 (シカ、サル、ハクビシン、アライグマ)	全国
211	丸橋 珠樹	霊長類生態学 (サル)	東京都 神奈川県 (他の地域については応相談)
212	松田 裕之	数理生態学 (シカ)	全国
213	江口 祐輔	動物行動学 家畜管理学 被害管理 (イノシシ、サル、タイワンリス、タヌキ)	全国
214	三浦 慎悟	野生動物生態学 (シカ、カモシカ、クマ)	東北 関東 甲信越
215	箕口 秀夫	森林生態学 森林保護学 (ネズミ、ノウサギ、クマ)	東北 北陸
216	関島 恒夫	動物生態学 (サル、鳥類)	新潟県 その近隣県
217	中村 雅彦	鳥類生態学 (カラス、その他鳥類)	新潟県 その近隣県
218	横畑 泰志	モグラ類の形態学・生態学・行動学	全国
219	伊澤 紘生	霊長類学 動物生態学 保全動物学 (サル、カモシカ)	青森県 宮城県 東京都 山梨県 石川県
220	竹田 謙一	応用動物行動学 (シカ)	長野県 (他の地域については応相談)
221	泉山 茂之	野生動物生態・管理学 (イノシシ、シカ、サル、クマ)	長野県
222	上原 貴夫	動物生態学 生息と分布 (イノシシ、シカ、サル)	長野県、群馬県
223	石黒 直隆	分子遺伝学 イノシシ属、イヌ属のDNA分析 (イノシシ)	全国
224	内藤 俊彦	生態学 (シカ、カモシカ)	静岡県
225	渡邊 邦夫	霊長類生態学 (サル)	全国
226	川本 芳	遺伝学 (サル)	全国

登録番号	氏名	専門分野	対応可能地域
227	室山 泰之	野生動物管理学 被害管理 (サル)	兵庫県
228	坂田 宏志	生態学 ワイルドライフ・マネジメント (イノシシ、シカ、サル、アライグマ、ヌートリア)	兵庫県
229	鳥居 春巳	哺乳類学 (シカ、サル、ハクビシン)	関西
230	作野 広和	人文地理学(農業・農村地理学) 被害管理 (イノシシ)	全国
231	江口 和洋	動物生態学 (鳥類)	九州
232	石若 礼子	哺乳類学 草地学 (イノシシ、ネズミ)	大分県竹田市、久住町 福岡市
233	岡本 智伸	草地生態学 (シカ)	中九州
234	西脇 亜也	応用生態学 地域農学 (イノシシ)	宮崎県
235	森田 哲夫	哺乳類学 畜産学 (ネズミ、モグラ)	宮崎県
236	岩本 俊孝	動物生態学 (シカ、サル)	大分県 熊本県 宮崎県 鹿児島県
237	曾根 晃一	森林保護学 (シカ)	鹿児島県
238	鈴木 正嗣	野生動物管理学 狩猟学 (シカ)	全国
239	城田 安幸	進化生態学 (サル、カラス、カルガモ、ハト)	東北
240	藤田 均	林学 環境教育学 野生生物の保護方策 (シカ、サル)	青森県
241	斉藤 千映美	保全生態学 (サル)	全国
242	梶 光一	野生動物保護管理学 (シカ)	関東
243	佐藤 喜和	保全生態学 野生動物管理学 (イノシシ、シカ、ヒグマ)	北海道 神奈川県
244	高橋 春成	生物地理学 (イノシシ、ヌートリア)	北陸 近畿
245	高柳 敦	野生動物保全学 (シカ、サル、クマ、カモシカ)	福井県 滋賀県 京都府 兵庫県
246	守田 秀則	農村計画学 農業土木学 空間情報工学 (イノシシ)	中国 四国
247	谷田 創	動物行動学 人間動物関係学 (イノシシ)	瀬戸内圏
248	田中 俊明	動物行動学 ニホンザルの保護と管理 (サル)	中国 四国 九州
249	遠藤 晃	生態学 (シカ、カモシカ)	長崎県 沖縄県 大分県

登録番号	氏名	専門分野	対応可能地域
250	中村 和雄	応用鳥学 (ヒヨドリ、キジバト、ムクドリ、鳥類)	沖縄県
251	金城 和三	動物生態学 コウモリ学 (オオコウモリ)	沖縄県
252	伊澤 雅子	動物生態学 (シカ、オオコウモリ)	沖縄県
253	浅野 玄	生態学、野生動物医学、個体群管理 (アライグマ)	全国
254	木場 有紀	動物行動学、人間動物関係学 (イノシシ)	瀬戸内圏
255	細井 栄嗣	動物生態学 (イノシシ、シカ)	西日本
(都道府県・市町村・公益法人関係)			
301	齊藤 正一	サル、クマの被害対策	山形県
302	青木 豊	営農・農林地管理技術 担い手の育成	全国
303	古谷 益朗	サル、ハクビシン、アライグマの被害対策	全国
304	岸元 良輔	哺乳類生態学 (シカ、サル、カモシカ、クマ)	長野県
305	陸 斉	哺乳類生態学 環境教育 (シカ、サル、カモシカ、クマ)	長野県
306	金森 弘樹	イノシシ、シカの被害対策	中国
307	澤田 誠吾	サル、クマの被害対策	中国
308	田戸 裕之	野生鳥獣保護管理 イノシシ、シカの被害対策	山口県
309	殿河内 寿子	サルの被害対策	山口県
310	青柳 正英	森林保護 アライグマ、ネズミの被害対策	北海道(道央地域)
311	塩谷 克典	動物生態学 動物行動学 (イノシシ、シカ、サル)	鹿児島県 宮崎県県南 熊本県県南
312	本田 剛	獣害対策 (イノシシ)	山梨県
313	吉田 洋	野生動物被害管理 森林防疫 (サル、クマ、カモシカ)	山梨県
314	林 哲	哺乳類生態学 鳥類生態学 (サル、クマ、カモシカ、鳥類)	北陸
315	西垣 正男	哺乳類生態学 動物社会学 (イノシシ、シカ、クマ、カモシカ、ハクビシン、アライグマ)	福井県
316	水谷 瑞希	GISを活用した鳥獣害情報の分析 (イノシシ、シカ、クマ)	福井県

登録番号	氏名	専門分野	対応可能地域
317	中田 都	被害防除対策 (イノシシ)	福井県
318	大槻 晃太	動物生態学、被害管理 (サル、カモシカ)	福島県
319	岡田 充弘	サル、シカの被害対策 (サル、シカ)	長野県
320	松村 俊幸	動物生態学 (クマ、サル、鳥類)	福井県
321	松井 一貴	被害防止対策 (イノシシ)	福井県
322	照屋 秀雄	森林生態 (鳥類)	沖縄県(北部、中南部地域)
323	米田 政明	野生動物保護管理 (クマ、シカ、マングース)	全国
324	常田 邦彦	野生動物保護管理 (イノシシ、シカ、サル、カモシカ、アライグマ)	全国
325	黒崎 敏文	野生動物保護管理 (シカ、クマ、カモシカ)	全国
326	安斉 友巳	野生動物保護管理 (シカ、カモシカ)	関東
327	中島 朋成	野生動物保護管理 (シカ、カモシカ)	関東
328	荒木 良太	野生動物保護管理 (イノシシ、シカ)	関東以西
(一般機関)			
401	赤松 里香	エゾシカ、アライグマの生態調査、被害対策、普及啓発	北海道(道央、道東地域)
402	鈴木 透	エゾシカ、アライグマの生態調査、哺乳類の分布 拡散モデル・シミュレーション・解析、被害対策	北海道
403	早稲田 宏一	エゾシカ、ヒグマの生態調査、被害対策、普及啓発	北海道(道央、道南地域)
404	小山 克	クマの保護管理	長野県(浅間山、 佐久地方事務所管内)
405	後藤 光章	イノシシ、クマ、ハクビシンの被害対策 クマの生態	長野県 その近隣県
406	福田 裕	有毒菌類、樹木、水棲爬虫類 (アライグマ、タヌキ)	大阪府羽曳野市
407	松岡 史朗	ニホンザルの生態調査 (サル、カモシカ)	青森県下北半島
408	小笠原 嵩	動物生態学 (サル、クマ、カモシカ、ハクビシン)	東北
409	今井 康仁	実践的獣害対策 獣害対策の担い手育成 (サル、クマ)	東北 関東
410	南 正人	ニホンジカの行動 社会生態学 (シカ)	長野県

登録番号	氏名	専門分野	対応可能地域
411	田中 純平	動物生態学 クマ対策犬の育成 (シカ、クマ)	関東 甲信越
412	玉谷 宏夫	林学 森林動物の行動と被害防除 (クマ)	長野県
413	青木 克己	イノシシの生態や行動 檻による管理捕獲 (イノシシ)	福井県
414	須永 重夫	有害捕獲に関する技術指導 (イノシシ、シカ、サル)	全国
415	野紫木 洋	哺乳類生態学、生物貴重種保存対策、被害対策 (イノシシ、サル、クマ、カモシカ、ハゲシシ、カラス)	新潟県上越地域
416	鈴木 義久	ニホンザル被害対策、普及啓発 (サル)	本州
417	中田 彩子	ニホンザル被害対策、普及啓発 (サル)	近畿、北陸
418	金城 道男	森林生態 (イノシシ、カラス、ヒヨドリ)	沖縄県

合計 118名

(農林水産省生産局農産振興課資料より)

5 国の鳥獣害対策の窓口、独立行政法人 試験研究機関

お問い合わせ先(農林水産省)

農林水産省生産局農産振興課環境保全型農業対策室

〒100-8950 東京都千代田区霞が関1丁目2番1号

TEL : 03 - 3502 - 8111(代表) FAX : 03-3502-0869

担当 : 鳥獣害対策企画班(4776)ホームページ : <http://www.maff.go.jp/>

農政局名	郵便番号	住所	電話	FAX	ホームページ	担当
東北農政局	980-0014	仙台市青葉区本町3丁目3番1号	(代)022-263-1111 (内線)4096	022-217-4180	http://www.tohoku.maff.go.jp/	農産課鳥獣害対策係
関東農政局	330-9722	さいたま市中央区新都心2番地1	(代)048-600-0600 (内線)3318	048-601-0533	http://www.kanto.maff.go.jp/	農産課鳥獣害対策係
北陸農政局	920-8566	金沢市広坂2丁目2番60号	(代)076-263-2161 (内線)3318	076-232-5824	http://www.hokuriku.maff.go.jp/	農産課鳥獣害対策係
東海農政局	460-8516	名古屋市中区三の丸1丁目2番2号	(代)052-201-7271 (内線)2471	052-218-2793	http://www.tokai.maff.go.jp/	農産課鳥獣害対策係
近畿農政局	602-8054	京都市上京区西洞院通下長者町下ル丁子風呂町	(代)075-451-9161 (内線)2319	075-414-9030	http://www.kinki.maff.go.jp/	農産課鳥獣害対策係
中国四国農政局	700-8532	岡山市下石井1丁目4番1号	(代)086-224-4511 (内線)2429	086-232-7225	http://www.chugoku.maff.go.jp/	農産課鳥獣害対策係
九州農政局	860-8527	熊本市二の丸1番2号	(代)096-353-3561 (内線)4218	096-324-1439	http://www.kyushu.maff.go.jp/	農産課鳥獣害対策係

お問い合わせ先(独立行政法人)

(独)農業・食品産業技術総合研究機構

中央農業総合研究センター鳥獣害研究サブチーム

〒305-8666 茨城県つくば市観音台 3-1-1

TEL : 029-838-8925 FAX : 029-838-8837

ホームページ : <http://narc.naro.affrc.go.jp/>

近畿中国四国農業研究センター鳥獣害研究チーム

〒694-0013 島根県太田市川合町吉永 60

TEL : 0854-82-0144(代表)

FAX : 0854-82-2280

ホームページ : <http://wenarc.naro.affrc.go.jp/>

(独)森林総合研究所 野生動物研究領域

〒305-8687 茨城県つくば市松の里 1 番地

TEL : 029-873-3211 (代表) FAX : 029-874-3720

ホームページ : <http://ss.ffpri.affrc.go.jp/index-j.html>

【参考文献図書】

中国四国農政局	鳥獣害対策ガイドブック	中国四国農政局 生産経営流通部 農産課鳥獣害対策係	2006.3
江口祐輔 藤岡正博	三浦慎悟 鳥獣害対策の手引	(社)日本植物防疫協会	2002.4.30
藤岡正博	中村和雄 鳥害の防ぎ方	家の光協会	2000.6.1
中村和雄 編	鳥獣害とその対策 (植物防疫 特別増刊号No.3)	(社)日本植物防疫協会	1996.3.20
農文協 編	鳥害・獣害こうして防ぐ (別冊「現代農業」 2005.9月号)	農文協	2005.9.1
由井正敏 阿部禎	鳥獣害の防ぎ方	農文協	1982.11.25

【引用文献等】

- 1) 鈴木 祥悟・亀川 健一・伊澤 敏彦・谷本 岳(1998) 水稲直播栽培における鳥害
防除 湛水直播でのカルガモ害回避について . 植物防疫 52:385-388.
- 2) 城所 隆 (1984) カルガモによる水稲の被害と防鳥機器の効果 . 応用鳥学集報
4:31-36.
- 3) 石崎 久次 (1991) カルガモによる水稲の被害とその回避技術 . 植物防疫
45:139-143.
- 4) Lane, S. J. (1997) Preferences and apparent digestibilities of sugars by fruit damaging
birds [*Sturnus cineraceus*, *Cyanopica cyana* and *Hypsipetes amaurotis*] in Japan . Annals
of Applied Biology 130:361-370.
- 5) 坂本堅五 (1981) 果樹への鳥害に関する調査 - 特にムクドリによるナシへの被
害を中心として - . 応用鳥学集報 2:53-57.
- 6) 中村 和雄・松岡 茂 (1991) キジバトによるダイズの被害発生要因と被害回避
法 . 農業技術 46:548-552 .
- 7) Nakamura & Matsuoka (1987) The feeding from edge towards inner part in soybean plot
in rufous turtle dove, *Streptopelia orientalis* (Latham) and the estimation of passing rate
of the flock. Researches on Population Ecology 29:45-55 .
- 8) 金城常雄 (1998) 沖縄本島におけるシロガシラの生態と被害防止対策 . 植物防
疫 52:397-402.
- 9) 農文協 編 (2005) 鳥害・獣害こうして防ぐ (別冊「現代農業」2005年9月号) .
農文協.
- 10) 高城 哲男 (2000) 水稲直播栽培におけるカルガモ被害軽減対策 . 今月の農業
2000年9月号:20-24.
- 11) 山内 稔 (2007) 鉄コーティング直播技術の発案、技術開発および問題点 . 鉄コ
ーティング種子を用いた水稲の湛水直播技術 - 技術開発・普及と今後の課題 - ,
pp26-38. (独)農業・食品産業技術総合研究機構近畿中国四国農業研究センター
産学官連携推進センター .
- 12) 山内 稔 . 湛水直播水稲における種子の鉄コーティングによる浮き苗回避 . 平成
13年度近畿中国四国農業研究成果情報 .
(http://www.affrc.go.jp/seika/data_kinki/h13/kinki01019.html)
- 13) 水口 茂 (1980) トウモロコシの深まきによる鳥害回避 . 畜産の研究 34:432-434 .
- 14) 松岡 茂・中村 和雄 (1987) ダイズのハト害の季節変動とその要因 . 日本鳥学
会誌 36:55-64.
- 15) 中央農研鳥獣害研究サブチーム HP
(http://narc.naro.affrc.go.jp/kouchi/chougai/wildlife/howto_j.htm)

- 16) 藤岡 正博・中村 和雄 (2000) 鳥害の防ぎ方 . 家の光協会 .
- 17) 由井 正敏 (1988) 大豆の鳥害防止法の研究 . 応用鳥学集報 8:13-20 .
- 18) 清水 祐治・稲垣 明・種田 芳基・高松 美智則・大竹 良知・中森 雅澄 (1988) ドバトの生態並びにダイズ栽培におけるハト害の実態と防除法の研究 . 応用鳥学集報 8:21-48 .
- 19) 中村 和雄・Simon J. Lane (1998) ガンカモ類による作物の被害 ヒドリガモによるムギ葉の加害を中心にして . 植物防疫 52:392-396 .
- 20) 百瀬 浩・吉田 保志子・山口 恭弘 (2006) ハシボソガラスとハシブトガラスの営巣密度推定のための予測モデル構築 . ランドスケープ研究 69(5):523-528 .
- 21) 長野農事試験場 . 水稲湛水直播栽培における鳥害の実態と耕種的鳥害防止対策 . 平成 10 年度研究成果情報 .
(http://www.affrc.go.jp/ja/db/seika/data_kan-tou/h10/narc98K126.html)
- 22) (独) 農業・食品産業技術総合研究機構中央農業総合研究センター鳥獣害研究サブチーム . 液果 (木の実) の豊凶による中国四国・九州地方のヒヨドリ果樹被害の予察 . 平成 18 年度共通基盤研究成果情報 .
(<http://www.naro.affrc.go.jp/top/seika/2006/common/com06040.html>)
- 23) 三重県科学技術振興センター農業研究部紀南果樹研究室 (2002) シーブドッグを利用したカンキツの鳥害防止法 . 農業技術短報 55:7 .
- 24) 北海道農政部北海道立農業試験場 . 大豆の鳥害とキジバトの生態に関する調査試験 . 試験研究成果 .
(<http://www.agri.pref.hokkaido.jp/center/kenkyuseika/gaiyosho/S57gaiyo/1981195.htm>)

おわりに

野生鳥獣による農作物への被害軽減を図るためには、被害を受けている地域の住民が当事者としての自覚を持ち、個々の取組みでなく地域ぐるみの被害防止対策に取り組むことが大切です。

本マニュアルでは、鳥類の生態など基礎的な情報を盛り込みつつ、被害防止対策の進め方と各種対策のポイント、被害防止技術等について実践的知識を提供しています。地域の実情等に即し、マニュアルを参考にされ効果的な被害防止対策に取り組まれることを願います。

野生鳥獣被害防止マニュアル - 鳥類編 - 作成委員

東 淳樹	岩手大学農学部共生環境課程講師
川崎 敦之	佐賀県農業技術防除センター専門技術員
川路 則友	独立行政法人森林総合研究所東北支所地域研究監
鈴木 祥悟	独立行政法人森林総合研究所東北支所 生物多様性研究グループ主任研究員
百瀬 浩	独立行政法人農業・食品産業技術総合研究機構 中央農業総合研究センター鳥獣害研究サブチーム サブチーム長
山口 恭弘	独立行政法人農業・食品産業技術総合研究機構 中央農業総合研究センター鳥獣害研究サブチーム 主任研究員
吉田 保志子	独立行政法人農業・食品産業技術総合研究機構 中央農業総合研究センター鳥獣害研究サブチーム 主任研究員

(5 0 音順 は委員長)

記載記事、イラスト、写真等の無断掲載はご遠慮願います。

野生鳥獣被害防止マニュアルシリーズ

「野生鳥獣被害マニュアル - 生態と被害防止
対策（基礎編） - 」平成 18 年 3 月発行

「野生鳥獣被害マニュアル - イノシシ、シカ、
サル（実践編） - 」平成 19 年 3 月発行

「野生鳥獣被害マニュアル - ハクビシン - 」
平成 20 年 3 月発行

イラスト 箕輪義隆、村石健一

写真提供 百瀬浩、吉田保志子、山口恭弘、鈴木祥悟、
（財）自然環境研究センター

野生鳥獣被害防止マニュアル
鳥類編

平成 20 年 3 月発行

発行 農林水産省生産局農産振興課環境保全型農業対策室
〒100-8950 東京都千代田区霞が関 1 丁目 2 番 1 号
TEL : 03-3502-8111(代表) FAX : 03-3502-0869